



Okinawa Nursing Association

公益社団法人

沖縄県看護協会案内

Okinawa Nursing Association Guide

命の尊さ

看護の優しさ

人のぬくもりを伝えます



沖縄県看護協会とは

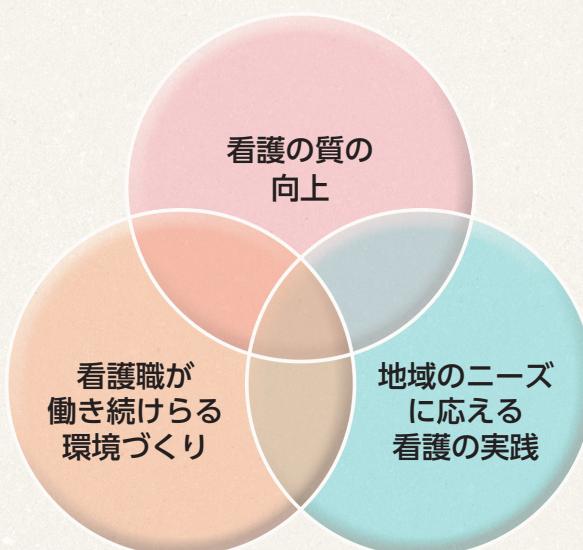
沖縄県看護協会は、看護職（保健師、助産師、看護師及び准看護師）が自主的に加入し運営する看護職能団体です。日本看護協会との連携のもと、看護の質の向上や看護職が働き続けられる環境づくりに取り組み、組織の力を発揮し、社会に貢献します。

基本理念

人々の健康な生活の実現に寄与する

使命と目的

教育と研鑽に根ざした専門性に基づき看護の質の向上を図るとともに、安心して働き続けられる環境づくりを推進し、併せて地域のニーズに応え、人々の健康な生活の実現に寄与することを目的としています。



シンボルマーク



「沖縄」および「看護」の頭文字「O」及び「K」を図案化し、看護する人をかたどる。
赤色は病人を思いやる愛の心、看護への情熱を象徴。

【制定：平成5年2月 デザイン：椿本喜一】

会員構成

沖縄県看護協会

正会員

保健師・助産師・看護師・准看護師

名誉会員

沖縄県看護協会に入会すると同時に日本看護協会に入会することになります。
日本看護協会は、国際看護師協会 (ICN)、国際助産師連盟 (ICM) の主要な会員協会となっています。会員は ICN、ICM の活動に参加することができます。

議決機関

通常総会(年1回)

会員

理事会

(年6回以上)

会長	1人
副会長	3人
専務理事	1人
常任理事	3人
書記理事	1人
職能理事	4人
地区理事	6人
全区理事	3人
監事	3人 (25人)

常務理事会

会長、副会長、専務理事、常任理事、職能理事、書記理事 (13名)

組織図

総会

監事

理事会 (常務理事会)

会長

副会長

専務理事

常任理事

事務局長

総務課

教育課

事業課

ナースセンター

訪問看護総合支援センター

訪問看護事業

居宅介護支援事業



看護実践能力の向上及び専門性の強化を目指して、研修、学会等を開催し、生涯にわたるキャリア開発を支援します。

教育計画の基本方針

教育計画の企画にあたっては、本会の教育理念・目的・目標を基盤としながら、重点施策、重点事業や日本看護協会の教育基本方針、国や県の施策と連動した研修となるよう研修内容の充実を図りながら、看護師のキャリア開発を支援します。

本会では、日本看護協会が策定した生涯学習の羅針盤となる「看護職の生涯学習ガイドライン」に基づき、研修の機会を提供します。すべての看護師が看護実践を行うために必要な能力を「看護実践能力」とし、「専門的・倫理的・法的な実践能力」「臨床実践能力」「リーダーシップとマネジメント能力」「専門性の開発能力」の4つの能力で編成しています。



看護実践を行うために必要な**4つ**の能力を構成する要素

能 力	能力および構成要素の定義
専門的・倫理的・法的な実践能力	自らの判断や行動に責任を持ち、倫理的・法的規範に基づき看護を実践する能力 ● アカウンタビリティ（責務に基づく実践） ● 倫理的実践 ● 法的実践
臨床実践能力	個別性に応じた適切な看護を実践し、状況に応じて判断し行動する能力 ● ニーズをとらえる力 ● 意思決定を支える力 ● ケアする力 ● 協働する力
リーダーシップとマネジメント能力	組織の一員として看護・医療の提供を効率的・効果的に行うために、状況や役割に応じたリーダーシップを発揮しマネジメントを行う能力 ● 業務の委譲／移譲と管理監督 ● 安全な環境の整備 ● 組織の一員としての役割発揮
専門性の開発能力	看護師としての資質・能力を向上し、適かつ質の高い看護実践を通じて、看護の価値を人々や社会に提供し貢献する能力 ● 看護の専門性の強化と社会貢献 ● 看護実践の質の改善 ● 生涯学習 ● 自身のウェルビーイングの向上

■ 災害支援ナースの養成研修

災害支援ナースとは、被災地等に派遣され、地域住民の健康維持・確保に必要な看護を提供するとともに、看護職員の心身の負担を軽減し支えることを行う看護職員です。

災害支援ナースになるには、「災害支援ナース養成研修」を修了する必要があります。災害支援ナース養成研修は厚生労働省医政局から委託を受けた日本看護協会が企画し、都道府県看護協会とともに実施します。

■ 医療安全対策

医療安全の推進に向けて、医療事故調査制度の周知や看護管理者の医療安全に関する管理能力の向上、看護職の安全な医療・看護提供のための実践能力向上に向けた研修等に取り組んでいます。また、医療安全に関する相談支援も行っています。

■ 助産師実践力向上支援

地域において、安心、安全なお産ができる体制づくりとして、助産師の実践力の向上と沖縄県内における助産師の偏在解消、助産師を希望する人材育成のための実習施設の確保等を目的に県の委託を受けて「助産師活用促進事業」及び「助産師実践能力向上研修」を実施しています。

■ 沖縄県看護研究学会学術集会

看護研究の成果を共有し、新しい知識を活用することで、より良い看護実践につながることを目指し、毎年開催しています。

■ 図書室

看護関連の図書約10,000冊、雑誌15誌を所蔵しています。図書やDVD等の閲覧、貸し出し、医学中央雑誌Webや最新看護索引Webを利用しての文献検索ができます。

■ 奨学金制度

本会の会員で、看護師2年課程通信制に在籍する方、認定看護師教育課程に在籍する方、看護系大学大学院（専攻科、別科含む）に在籍する方、特定行為研修受講者等で貸与条件を満たす方へ奨学金貸与を行っています。

■ 演習室及びシミュレーター等の利用

看護職の看護技術トレーニングのための施設利用及びシミュレーター利用ができます。

研修の様子





健康で安全な職場環境づくりを推進し、就業促進・定着の促進を支援します。



■ 無料職業紹介

沖縄県知事より沖縄県ナースセンターとしての指定を受け、職業安定法第33条第1項の規定により厚生労働大臣の許可を受け、看護職の無料職業紹介（eナースセンターによる求人・求職・あっせん）を行っています。また、ハローワークと連携した個別相談やオンラインによる相談も行っています。
2025（令和7年度）より看護補助者の無料職業紹介も開始しています。

■ 復職に向けた支援・人材確保支援

再就職を希望する看護職を対象に、知識・技術が習得できる看護技術トレーニングやセミナーを開催しています。
また、求職者と求人施設を対象にした就職説明会の企画や領域偏在・地域偏在の是正に向けた取り組みを行っています。

さらに、「沖縄県保健師等人材確保支援計画」に基づいた、離島へき地の保健事業を支援するため、退職保健師・潜在保健師の登録とマッチングを行い、特定町村の保健事業を支援しています。



看護技術トレーニングの様子

■ 看護職キャリア情報に基づく支援

看護職のためのポータルサイト「NuPS (Nurse Portal Site)」の活用を推進し、就業支援とスキルアップに関する情報提供等を行います。

また、離職時の届出制度の周知を行い、看護職の状況に合わせた情報提供や相談等を実施、潜在化の予防、復職をサポートします。

■ 健康で安全な職場づくりのための支援

看護職が生涯を通じて、安心して働き続けられる職場環境の実現に向けての取り組みを支援します。
「ゆいまーる業務改善 in おきなわ」の運営、多様な働き方の推進や離職防止等、職場環境改善に取り組む看護管理者を支援しています。

また、働く看護職の相談窓口を設置し、関係機関と連携して、個別相談にも対応しています。



ナースのかえるプロジェクト（日本看護協会）



住み慣れた地域で、
安心して生活ができるよう支援します。

■協会立訪問看護ステーション

本会は4か所の訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所を運営しています。

医療や介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で安心して生活できるよう関係機関と連携し、訪問看護による在宅療養を支援します。また、訪問看護ステーションには居宅介護支援事業所を併設し、介護支援専門員(ケアマネージャー)がケアプランを作成し、サービス事業者と連携を図り在宅生活を支援します。



訪問看護ステーションはえばる
居宅介護支援事業所 はえばる

南風原町字新川272番地17

Tel.098-888-3405



訪問看護ステーションのぞみ
ケアプランセンター のぞみ

うるま市宮里 842番地5

Tel.098-979-0511

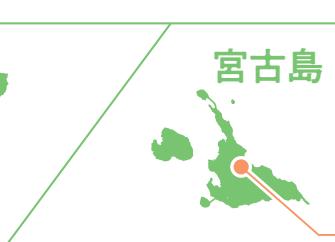


石垣島

訪問看護ステーションうりづん
居宅介護支援事業所 うりづん

石垣市大川547番地 興ビル2F 204号

Tel.0980-84-1220



訪問看護ステーションみやこ
居宅介護支援事業所 ていだ

宮古島市平良字下里 1165番地4

Tel.0980-73-5871

■在宅医療の推進

沖縄県訪問看護総合支援センターは、2023年4月に沖縄県から受託し、沖縄県看護協会内に設置運営しています。センターは地域の訪問看護ステーションを総合的に支援するとともに、訪問看護に関する課題を一元的・総合的に解決に向けた取り組みを推進することを目的としています。

事業内容は、訪問看護の相談に応じるコールセンターや訪問看護師の人材確保・育成及び質の向上を図るために研修会の開催や訪問看護の普及・啓発活動等を行っています。



健康相談・健康づくり支援

看護職の専門的知識や相談機能を活かし、健康相談や育児・介護の相談、健康づくり講話や介護予防教室等、地域のニーズに応えた相談・教育活動を行っています。

まちの保健室

本会が主催する「看護フェア」をはじめ、関係団体と共に「県民健康フェア」や「国際助産師の日」などに参画し、健康増進への取り組みを行っています。また、地域の健康フェアや福祉まつりなどの場や商業施設において、地区委員や職能委員が「まちの保健室」を設置し、健康相談を実施しています。さらに、看護職の健康づくりに向けて、運動、食事、禁煙、メンタルヘルスなどに関する役立つ情報をホームページで発信しています。



医療団体との共催「県民健康フェア」、複合施設内でのまちの保健室の様子

不妊・不育専門相談

沖縄県からの委託を受け、「沖縄県不妊・不育専門相談センター」を運営しています。不妊や不育にお悩みの方を対象に、助産師、不妊症看護認定看護師などによる電話相談や面接相談を実施しています。また、不妊に関する理解を深めていただくための講演会などを開催しています。

健康危機発生時の支援活動

大規模自然災害、新興感染症の発生・蔓延時の 災害支援ナースの派遣体制の概要



都道府県が地域の実情に応じて構築します。また、都道府県が登録や派遣調整に関する実務を沖縄県看護協会に委託が可能です。本会は、2025年4月1日から「令和7年度災害支援ナース派遣事業」を受託しています。

- 厚生労働省医政局が実施する災害支援ナース養成研修を修了した者を災害支援ナースとして登録
- 医療機関に所属している災害支援ナースは改正医療法上の「災害・感染症医療業務従事者」に位置付け
- 都道府県と、災害支援ナースの所属施設との災害支援ナースの派遣に関する協定締結により災害発生時に派遣

看護の魅力・活動の情報発信

看護の普及・啓発

「看護の日」と「看護週間（5月12日を含む日から土曜日までの1週間）」の期間中、すべての人に「看護の心」「ケアの心」「助け合いの心」を育んでほしいという願いを込めて、「看護フェア」や、命の尊厳と看護のすばらしさを伝える「ふれあい看護体験」「看護の出前授業」を実施しています。また、未来の看護人材に向けた「キッズナース体験」など、看護に触れる楽しいイベントを開催しています。



看護の日

看護の心をみんなの心に



看護フェアの様子

看護への道

看護職をめざす中高校生や看護学校への入学を希望する方に向けた情報の発信、看護系大学や養成校と連携した就学説明や個別進路相談等を行っています。

廣報活動

会報「看護おきなわ」を年4回、機関紙「ともしび」を年1回発行し、会員の活動や声、看護・医療に関する情報を会員及び関係機関等に届けています。ホームページでは、新着情報やイベント情報を随時掲載しています。



会報「看護おきなわ」

機関誌「ともしび」



沖縄県看護協会ホームページ

沖縄県看護研修センター 施設案内

当センターは、看護職者の継続教育研修や看護職能団体の活動拠点となっている施設です。

研修ゾーン（3階・4階）



第1研修室

- 第1研修室 350名
- 第2研修室 60名
- 第3研修室 60名
- 第4研修室 30名
- 第5研修室 120名
- OA視聴覚室 30名
- 技術演習室



ラウンジ

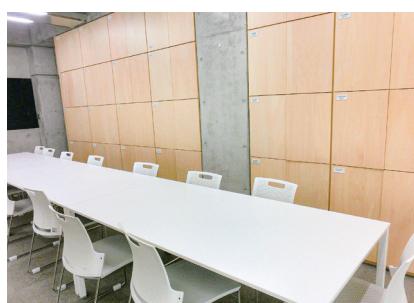
各階のラウンジにはテーブルとイスが設置されており、学習や休憩スペースとして利用できます。

管理ゾーン（2階）

管理ゾーンでは、図書室や委員会室、会議室、事務室があります。



図書館



委員会室



会議室

交流ゾーン（1階）

交流ゾーンには、研修生や来所者が休憩やサークル活動などに利用できる多目的室があります。

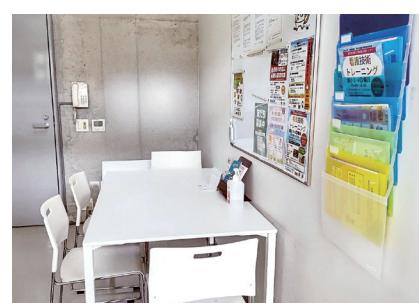
また、同階には沖縄県ナースセンター、訪問看護ステーション、訪問看護総合支援センター、相談室などが設けられています。



多目的室



ラウンジ



相談室



昭和 26 (1951) 年	沖縄群島看護婦協会の創立
昭和 27 (1952) 年	琉球看護婦協会に名称変更
昭和 37 (1962) 年	沖縄看護協会に名称変更
昭和 39 (1964) 年	沖縄県看護協会の改組
昭和 46 (1971) 年	日本看護協会加入
昭和 57 (1982) 年	日本看護協会沖縄県支部と改組
昭和 61 (1986) 年	社団法人へ移行
平成 2 (1990) 年	無料職業紹介事業許可
平成 5 (1993) 年	沖縄県看護研修センター（南風原町与那霸）竣工
	沖縄県ナースセンターの指定
	認定看護管理者教育機関認定（ファーストレベル教育課程）
平成 6 (1994) 年	訪問看護ステーションはえばる事業開始
平成 10 (1998) 年	訪問看護ステーションみやこ事業開始
平成 11 (1999) 年	訪問看護ステーションうりづん事業開始
平成 12 (2000) 年	居宅介護支援事業所はえばる事業開始
	居宅介護支援事業所ていだ事業開始
	居宅介護支援事業所うりづん事業開始
	ヘルパーステーションさくら事業開始（平成 26 年 4 月廃止）
平成 13 (2001) 年	訪問看護ステーションのぞみ事業開始
	ケアプランセンターのぞみ事業開始
平成 15 (2003) 年	厚生労働大臣表彰受賞（開発途上国 PHC 推進と看護者的人材育成に対する功績）
	保健文化賞受賞（実践活動を通して保健・衛生・福祉の向上に貢献）
平成 16 (2004) 年	認定看護管理者教育機関認定（セカンドレベル教育課程）
平成 19 (2007) 年	沖縄小児保健賞受賞（訪問看護ステーションはえばる 沖縄の在宅療養児看護の功績）
平成 23 (2011) 年	災害対策基本法に基づく「指定地方公共機関」認定
平成 24 (2012) 年	公益社団法人へ移行
	認定看護師教育機関認定（感染管理認定看護師教育課程）
平成 25 (2013) 年	沖縄県看護研修センター（南風原町新川）竣工
	認定看護管理者教育機関認定（サードレベル教育課程）
	新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく「指定地方公共機関」認定
平成 26 (2014) 年	認定看護師教育機関認定（皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程）
	外務大臣表彰受賞（開発途上国からの JICA 研修員受け入れに対する貢献）
平成 27 (2015) 年	沖縄県との災害支援協定書の締結
平成 28 (2016) 年	創立 65 周年記念事業の実施
平成 29 (2017) 年	認定看護師教育機関認定（緩和ケア）
	訪問看護ステーションはえばる北部出張所開設（令和 4 年 3 月閉鎖）
令和 2 (2020) 年	県知事から感謝状（家畜伝染病豚熱防疫作業員の健康管理に貢献）
	会報「看護おきなわ 100 号」発刊
令和 5 (2023) 年	沖縄県訪問看護総合支援センター開所

沖縄県看護研修センター(沖縄県看護協会)

周辺 MAP



最寄りのバス停



県立医療センター東口下車 (徒歩 約 2 分)

県立医療センター前 下車 (徒歩 約 5 分)

那覇バス新川営業所 下車 (徒歩 約 5 分)

〈那覇バス〉



1 番 首里牧志線

2 番 識名開南線

5 番 識名牧志線



〈東陽バス〉



191 番 城間線 (南風原経由)



公益社団法人 沖縄県看護協会
沖縄県看護研修センター

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川 272 番地 17

TEL 098-888-3155 FAX 098-888-3126

URL <https://www.oki-kango.or.jp/>



「看護の日」キャラクター
沖縄県看護協会
かんごちゃん

